

2022 年度 第 2 回 理事会議事録

日 時：2022 年 6 月 10 日(金) 15:00～17:00

会 場：ブルースペース上野御徒町

所在地：東京都台東区上野 3-13-10 トミヤマビル B1F

出席者：宮城、高野、下口、大澤、津田、寶田、田島、荒井、中村、嘉成、空保、三志奈、成定

欠席者：谷 (順不同、敬称略、Web での参加者 2 名)

議事に先立ち、本理事会は役員の過半数の出席を認め、成立する旨確認した。

議事進行は、高野副会長が担当した。

議題 I、2022 年度会員の現状と会費納入状況について

II、2022 年度基礎講座について

III、2022 年度日本医療検査科学会共催シンポジウムについて

IV、賛助会員の担当者について

V、私立医科大学臨床検査技師会 40 周年記念式典について

VI、その他

I、2022 年度会員の現状と会費納入状況について

正会員が減少しているため各理事は自施設での会員の勧誘に力を入れることを確認した。役員への委嘱状については前庶務担当理事より各種書類の原本を頂いたため、会長と庶務担当者でこれを共有する。

II、2022 年度基礎講座について

前回同様、ポスターを作成し、ホームページ上、および各理事の施設に掲示をする。アルフレッサ株式会社に全国的なポスターの配布を依頼したところ、了承して頂いた。

III、2022 年度日本医療検査科学会共催シンポジウムについて

私立医科大学臨床検査技師会共催シンポジウムは 10 月 9 日(日)13 時 00 分から 15 時 00 分までの時間が割り当てられている。座長は宮城会長と下口副会長が担当し、11 時 00 分より会議室にて演者を含めた事前打合わせを行う。演者の坂本秀生先生(日本臨床検査学教育協議会理事長)、桑原先生(日本臨床検査技師会理事)には事前に抄録を送って頂くように会長が依頼する事となった。(神戸常磐大学、杏林大学の学生演者 2 名は抄録作成をお願いしていない。) タイムスケジュールは坂本先生が約 30 分、学生演者がそれぞれ約 15 分、桑原先生が約 30 分の順番で講演を行い、各講演後に 5 分程度の質疑応答時間を設ける予定。

各理事も現地での参加が望ましいが、コロナウイルス感染状況や出張費用等の問題もあるため、各理事に任せることとした。また、Web 環境が確保されるようであれば同日に理事会を行う予定。

IV、賛助会員の担当者について

賛助会員の募集と案内を行うにあたって、各企業の担当理事を決定した。現在、各理事の勤務先と取引の無い企業については募集が難しいため、取引のある病院に勤務する理事へ担当を変更した。今後、担当者が各企業に募集を行うが、入会が難しい企業については、適宜担当理事を変更する事とした。

V、私立医科大学臨床検査技師会 40 周年記念式典について

開催月が 11 月では準備期間が足りないため、1 月に開催してはどうかと会長より提案があった。具体的には開催日を 1 月 28 日(土)とし、杏林大学にて開催する。学術研修会の会場として会議室を、記念式典の会場としてレストランが既に予約済みとのことであった。

私立医科大学臨床検査技師会 40 周年記念行事については実施することを前提として準備することとしたが、実際に実施するか否かはコロナウイルスの市中感染状況により 11 月以降の理事会で判断する。記念行事の内容としては教育講演、特別講演、基礎講座(最終回)、セミナーを行い、その後記念式典に移行する予定。式典は参加者人数を 50 人程度に制限し、会食はせずに飲み物のみ用意して開催する予定。式典では 10 年間の活動を紹介する予定。

VI、その他

1、編集委員会からの報告

編集委員会細則の改定案が提出された。改定箇所は第 3 条 1 項、4 項、6 項、第 5 条 1 項、2 項の計 5 箇所、第 5 条 2 項は削除となった。(カメラデン編集委員会細則改定案参照)

その他ホームページの更新についての報告があった。(2020 年度、第 1 回カメラデン編集委員会議事録参照)

編集委員会で連絡が取れない担当者がいるとの報告があり、新たに編集委員を募集することとした。

以上

連絡事項：次回 2022 年度第 3 回理事会は 2022 年 7 月 8 日(金) 17:30 から Web にて開催予定